

A . 主な動き

1 . 内政

▼大統領選出に向けた動き

・5日、フィラト首相は、再度の期限前議会選挙実施は何としても避ける必要があるとし、モルドバでは、法規定に基づいて大統領を選出する意図は共有されている旨発言。同日、ギンブ自由党党首は、自由党は議会再開後に大統領選出に向けた憲法改正案を提出する意向である旨発言。

・6日、A E I各首脳は、21日に大統領選出問題の解決策の得られる可能性がある旨発表。フィラト首相は、大統領は憲法規定に沿った形で選出されるであろう旨発言。ギンブ自由党党首は、最終的な解決法の一つは、新たな憲法の採択となる可能性がある旨発言。

・6日、ヴォローニン共産党党首は、A E Iによる大統領選出に必要な議席数削減及び憲法解釈変更の提案に応じるべきではない旨の憲法裁判所宛公開書簡を发出。これに対し、8日、憲法裁判所は、同書簡は憲法裁判所の中立性に干渉し、政治的圧力を掛けるものである旨共産党を非難する声明を発表。

・6日、ストリレツ自由民主党議会党代表は、複数の銀行が敵対的買収等を目的とした攻撃を受けている旨指摘、公聴会実施のための臨時議会召集を提言。一方、7日、ルプ大統領代行(民主党党首)は、臨時議会召集の必要はないとし、議会会期は29日とするべきである旨発言。

・8日、共産党は、国家財政分野に関する関係機関の事情聴取が必要であるとし、臨時議会召集を申請。一方、9日、議会議事常任委員会は、書類の不備を理由に同申請を却下。

2 . 経済

▼マクロ経済

・6日、フィラト首相は、2011年1 - 6月期において、輸出が64.9%、輸入は41.7%増加し、GDP成長率が前年同期比7.5%であった旨発言。

▼その他

・5日、モルドバガス社は、ガスの購入代金の高騰を理由として、国家エネルギー規制庁(ANRE)に対し、市民向けガス料金を21.2%値上げするよう要請。ANREは、2月1日にもガス代を12.2%値上げ。

・6日、経済省は、2010年において、モルドバ国民の21.9%が月平均1,015レイの収入で生活している一方、生活最低水準額は1,373レイ、また、国民の1.4%にあたる46,300人は月平均549.4レイの収入、と発表。

・7日、経済省は、モルドバ国家発展戦略2020に含まれることとなる銀行・金融部門発展のためのガイドラインの作成を

終了。同ガイドラインの主目標として、金融調停の発展、コストの最適化、信用保証条件や国家機関の仕事の改善が設定されている。

・7日、グーセフ・モルドバガス社長は、モルドバは8,000万ドルのガス代金を滞納している旨発表。右は暖房供給企業がモルドバガスに対し支払っていないためと説明。

・9日、世界経済フォーラムが発表した世界競争力レポートにおいて、モルドバは142か国中93位。CIS諸国の中では最下位。

3 . 外政

▼3日、ルプ大統領代行のCIS首脳会合参加(於ドゥシャンベ)

・ルプ大統領代行は、CIS首脳会議において、モルドバはCIS内の経済貿易協力の強化に強い関心を有しており、CIS内のFTA創設合意交渉の早期終了を求める、モルドバは欧州統合を外交路線に掲げるも、右がCISとの協力を妨げるものではない旨演説。

・ルプ大統領代行は、ヤヌコーヴィチ大統領と会談、二国間関係、経済協力、沿ドニエストル問題、エネルギー安全保障、国際・地域情勢等につき協議。

・ルプ大統領代行は、メドヴェージェフ露大統領と会談、沿ドニエストル問題解決を含む二国案協力につき協議。ルプ大統領代行は、ナザルバエフ・カザフスタン大統領及びラフモン・タジキスタン大統領とも個別会談。

▼7～8日、フィラト首相のポーランド訪問

・経済フォーラムに出席したフィラト首相は、中・東欧情勢に多大な影響を与えたとして、「マン・オブ・ザ・イヤー」の称号を受賞。

・フィラト首相は、トウスク・ポーランド首相と会談、二国間関係、国際場裡における協力、モルドバの欧州統合等につき協議。フィラト首相は、9月29～30日にワルシャワにおいて開催予定の東方パートナーシップ・サミットに関し、同サミットにおいては、それぞれの対象国が貢献度に応じて評価されるよう願う旨発言。

・フィラト首相は、サーカシヴィリ・グルジア大統領と会談、二国間関係、東方パートナーシップの枠組みにおける経験の共有、グルジアの国内改革等につき協議。双方は、政治対話を強化していくことで合意。

・フィラト首相は、レヴァンドフスキ予算担当欧州委員と会談、モルドバの欧州統合、モルドバ・EU関係、EUの予算政策等につき協議。フィラト首相は、モルドバ・EU連合協定交渉が成功裡に進んでいる、モルドバはEUの更なる支援を期

待している旨発言。

・フィラト首相は、ブゼク欧州議会議長と会談、モルドバ内政、モルドバ・EU関係等につき協議。ブゼク欧州議会議長は、モルドバ大統領選出の見通しにつき質問、フィラト首相は、21日にもA EIが解決案を発表する予定である旨回答。

▼ 8日、レアンカ外務・欧州統合相の訪英

・レアンカ外務・欧州統合相は、ヘーグ英外相と会談、モルドバの内外政、沿ドニエストル問題、国際場裡における協力等につき協議。ヘーグ英外相は、モルドバの欧州統合に対する英国の支援を改めて表明。レアンカ外務・欧州統合相は、チャタム・ハウスにおいて、モルドバの欧州統合につき演説。

4 . 沿ドニエストル

・6日、フィラト首相は、9日に予定されているスミルノフ「大統

領」との会談において、スパイ容疑によって拘束中のカザク氏に関する問題及び「5 + 2」者協議の見通しにつき議論する意向である旨発言。

・6日、フィラト首相は、9日に独バード・ライヒェンハルにおいて開催予定の信頼醸成会議において、スミルノフ沿ドニエストル「大統領」と会談する予定である、次回「5 + 2」者協議がモスクワにおいて22日に開催予定である旨発表。

5 . 防衛

・9 ~ 22日、NATO パートナーシップの枠組みにおける平和プログラムのための多国間軍事演習「コンバインド・エンデバー 2011」に通信幹部10人が参加。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。

(了)